

平成30年度 学校自己評価表

（ 計画段階 ・ 実施段階 ）

福岡県立京都高等学校長
（ 全 日 制 課 程 ）

学校運営方針		学校運営計画（4月）			評価（3月）		
昨年度の成果と課題		地域のみならず世界を舞台に活躍するグローバル・リーダーを育成する					
		年度重点目標	具体的目標				
<p>・昨年度は、スーパーグローバルハイスクール（SGH）指定3年目の中間評価を受けた。これまでの取組に対して一定の評価を得た。特に生徒が手応えを感じながら新たな研究課題に取り組み学びのスタイルが評価された。</p> <p>・京都高等学校の存在価値を一層高めるため、SGH指定終了後もグローバルリーダーを育成するための教育活動を展開する。また、新学習指導要領及び大学入試改革に向けた研鑽に励むとともに教科指導力の向上に努める。</p>		<p>・志をもって意欲的に学ぶ生徒を育てる</p> <p>○主体性、チャレンジ精神の育成</p>	<p>・SGH、京都高校CBAプラン（学力向上プラン）に基づく教育活動を充実・推進し、学習意欲の向上、進路実績の飛躍を図る。</p>		A		
		<p>・自律心と思いやりの心をもつ生徒を育てる</p> <p>○倫理観、責任感、協調性・柔軟性の育成</p>	<p>・「総合的な学習の時間（グローバルアグリタイム、インディペンデンス・プロジェクト）」の充実を図り、課題発見・解決型の探究活動を展開する。</p> <p>・自尊感情を高めることにより、基本的生活習慣の確立、規範意識の高揚を図る。</p> <p>・安全で快適な学習環境を確立し、心身の健全育成を目指す。</p>				
		<p>・困難に立ち向かうことができる、逞しい生徒を育てる</p> <p>○課題発見・解決能力、コミュニケーション能力の育成</p>	<p>・今日的な社会課題の発見・解決に取り組み、自らを自己表現できる力を伸ばす。</p> <p>・鍛えてほめることにより、自らの課題に正面から取り組み、克服する問題解決能力を育成する。</p>				
評価項目	具体的目標	具体的方策		評価（3月）		次年度への主な課題	
学 習 活 動	全ての生徒の希望進路を実現できる確かな学力の育成	SGHの取組を通して授業の質を向上させ、生徒に豊かな教養と確かな学力を身につけさせる。		A	B	A	新学習指導要領及び大学入試改革を踏まえ、3年間を見通した学習の指導方法を構築し、生徒の主体性を高める教科指導を展開する。
	総合的な学習の時間の充実	本校に適した主体的・対話的で深い学びの実現を図る。 SGH課題研究を通じ、生徒の課題解決力をさらに高める。 大学や企業と連携し、グローバルリーダーの育成を図る。		B A A			
生 徒 指 導	生徒が安全で安心した学校生活を送るための指導体制確立	いじめの撲滅や交通安全、防犯意識の向上などについて日頃から職員との共通理解をはかり、生徒への指導体制を構築する。		B	B	B	生徒が指導的立場を経験する機会を増やし、主体的な活動を更に充実させるために、職員のサポート体制を整えるとともに共通理解を深める。
	基本的生活習慣の確立と規範意識の醸成	生徒の基本的生活習慣の確立を図るとともに、正しく規範意識が醸成されるよう生徒自身の自己教育力の向上に努める。		A			
進 路 指 導	「国公立」大学への希望進路実現者数の増加	キャリア教育の内容の充実を図ることで、学習意欲の向上に努め、生徒一人一人の適性等を踏まえた進路指導の充実を図る。		B	B	B	京都グローバル人材育成プロジェクトにより、体系的・組織的な進路指導を推進し、生徒が目標に向かって自発的な取組ができるように支援する。
	難関大学への進路希望実現	CBAプラン（学力向上プラン）により、難関大学進学への意識付けを行い、高い学力を持った生徒を育てる。		A			
健康・安全指導	健康管理能力の確立	質の高いカウンセリングを実施することで、教育相談機能の充実を図る。		A	A	A	規則正しい生活による心身の健康管理能力の確立と向上を目指すとともに登下校時の安全指導を強化し、安全・安心な学校づくりを推進する。
	組織的な校内環境美化計画と安全点検	校内の環境美化に意欲的に取り組む組織づくりと、定期的に安全点検を実施し、安全・安心な学校作りを推進する。		A			
職 員 研 修	教員の指導力アップと資質の向上	SGHの研究と並行した授業研究に組織的に取り組む。		B	A	A	京都グローバル人材育成プロジェクトに関する研修会を通して全職員で共通理解を図り、取組を推進する。
		ICTや電子黒板を積極的に活用しながら主体的・対話的で深い学びの実現を図り、全職員の教科指導力を向上させる。 初任者研修の充実を通して、全職員の「指導力」アップを図る。		A A			
家 庭・地 域 との 連 携	地域に信頼されるための積極的な広報活動の展開	進路相談事業・体験入学・中学校訪問や出前授業・SGH活動報告会等を通して、中学生や地域住民の本校への理解を高める。		A	A	A	更に魅力的なホームページになるように内容を充実させるとともに中学校訪問等の広報活動にも工夫を加え、本校の教育活動の発信に努める。
	家庭との「学校情報」の共有	通信物やホームページの内容充実を図り、保護者や地域が求める情報提供を適宜実施する。		A			